

四国の夜明けぜよ!

2010年10月30日 四国まんのう大会 (香川県まんのう町)



トレイルO協会
徳野利幸
海津良一

竜馬で注目を集めた四国でオリエン界が動き始めた。昨年10月30日に讃岐まんのう公園でトレイルO大会と併設プリント大会が、開催され、来年には愛媛県での開催が企画されている。



■まんのう大会を振り返って■

愛媛県協会 徳野利幸

平成21年8月、暑いさなかに四国のほぼ中央に位置する愛媛県四国中央市で開催された、四国ブロック協議会から、四国ルネッサンスの胎動が始まりました。

各県協会の活動報告や今後の活動などについていろいろな意見交換があり、若い人が居ない、育たない、資金もない、参加者も少ない、など現状に対する分析をいうより、愚痴などを述べ合っていたが、だんだんとではどうしたらよいか、無いものを数えていても。進まないわけで、無から有に生まれる話をしようと言うことになり、四国独自の風土と文化を生かし、地域密着型のトレイル・オリエンテーリング大会の開催が選定されました。社会福祉関係の諸団体、障害者関係団体、行政なども連携し、(独立行政法人)福祉医療機構からの助成金も期待できるという事が、トレイル・オリエンテーリングを四国のオリエンテーリング復興の足がかりとした理由です。

JOA 中国四国ブロック選出理事の櫻内さん、NPO法人トレイルO協会の田中さんの後押しも大きな力になりました。そして初回大会開催権に香川県。トレイルに国営讃岐まんのう公園が選定されました。文字通り四国4県の協会が一致協力するという事が前提です。香川県協会が中心となり、NPO法人

トレイルO協会協力の体制で動き始めました。

幸いにも福祉医療機構から助成金も戴け、GPSを使った地図調査や、各関係機関への広報活動、四国新聞始めとしたマスメディアへの働きかけも始まりました。四国新聞には、講習会体験会本大会の参加者募集の記事を毎回載せてもらえました。

香川県協会の松井理事長の努力で、一地元スーパーのレジ前にポスターを貼ったり、まんのう公園との団体割引の交渉、数度にわたる、地図調査時の無料入園、まんのう町始め行政の後援依頼など、これは、大会を開催された経験のある方なら知っている、煩雑で、地道な努力が香川県協会の木村事務局長を中心に進められました。

平成22年7月に第1回トレイルオリエンテーリング体験会 in 高松大会が高松市の中心部に位置する高松中央公園にて炎天下のなか行われました。車椅子での参加の方や地図、オリエンテーリングに興味のある方の参加があり、幸先よいスタートを切ることができました。地図は勿論、GPS調査された最新版を使用。引き続き、トレイルオリエンテーリング指導者養成講習会、そして第2回トレイルオリエンテーリング体験会 in まんのう大会が平成22年9月に国営讃岐まんのう公園で行われました。

このまんのう公園でのプレ大会は、9月の本大会での役員さんにトレイルOの運営を実際に経験してもらった良い機会でありました。しかも驚くことに、このプレ大会の運営役員に香川県協会の方が20名以上来られたことです。人がいない、いない、と言いましたが、人はいたんですね。只隠れていたというか、呼びかけが無かったから出てこなかっただけなんです。事ほど左様にどこの県にも、走る或いは競技としてのオリエンに参加する人は少なくとも、大会の運営等に協力してくれる人は、結構多いんです。指導者養成講習会も20名程度の参加があり主催者側の気乗りを高めてもらいました。

これに併せて、10月31日に向けての地図調査、スポンサー獲得等に足と知恵と労力を使い殆どの土、日を費やしました。PC上のメール受信の80~90%がトレイルOの意見交換情報の毎日。

木村さんとの電話も早朝5時とか夜中の12時前後。周到な準備をもって大会当日を迎えました。

トレイルオリエンテーリング四国 in まんのう大会はJOA公認大会。スプリントOは併設大会として近県はもとより関東エリアからの参加者や空路を乗り継ぎ新潟県から車椅子での参加もありました。当日、天候は曇りのち小雨とあいにくの気象条件となりましたが大会は成功したと言えるでしょう。

7月の体験会から始まって全体を通して言えることは、言うに及ばぬが、一人では中々難しいことでも何人かの知恵、力を合わせれば目的の方向に動き、近づくということです。香川県協会はこの大会を機に継続的な大会運営、協会運営が期待できると言えます。また近い将来、愛媛県でも行われるであろう大会に備え協会員、ひとり、ひとりの知力、技術、を高めていかなければならないと考えています。

本大会に終始一貫して指導して頂いたNPO法人トレイルオリエンテーリング協会 田中博さま、JOAトレイルオリエンテーリング委員会/JOA中四国ブロック理事 櫻内保幹さま、岡山県オリエンテーリング協会 伊東洋一郎さま、岡山県オリエンテーリング協会 佐藤旭一さま、本当にありがとうございました。

また、香川県オリエンテーリング協会 会長 植田昌史さま、同協会 事務局 木村進さま、愛媛県協会 伊藤好信さま、同協会 事務局 宮内祐さま、お疲れさまでした。

この香川県での努力を皆様のご協力を一過性のお祭りにはならない、毎年規模は小さくなるかもしれないが、定期的に開催しほかの町でも小規模でもいいから、体験会や、大会を開催し、地に足を付けた、各県協会の活動を続ける事が、最も大切なことであると、思っています。

そのためにも平成24年には、香川に引き続いて、愛媛県でも、体験会、講習会、大会の開催に向けて、準備が始まっています。

オリエンテニアの皆さん平成24年秋には、オリエンの後には坊っちゃん温泉につかる事を期待していただきます。

(徳野利幸)



■車いすでのトレイルO■

新潟県 長岡市 海津良一

最初のきっかけ

私が、始めてトレイルOを知ったのは、新潟県長岡の国営越後丘陵公園でのトレイルO大会でした。藤島さんから手ほどきを受けて、大勢の方に紹介され、全て初めての体験であり、今でもそうですが、難しいなと思いました。

あれから、長崎大村大会 東京立川の二日間大会、神奈川茅ヶ崎の全日本トレイルして代々木公園のつどい、青梅や御殿場での合宿等などに参加しています、年数はそれなりに経過し、大会参加の数もかなり増えていますがなかなかレベルアップが難しいようです。

しかしながら、大勢の方と友人 知り合いになれました。トレイルOをやっていなかったら、知り合いになれなかった年配の方や、車いすの仲間など貴重な経験であり、嬉しい事です。

今回の大会を振り返る

今回の大会は前日に新幹線で、長岡から東京、東京からは佐藤清一さんに合流してもらい羽田から飛行機で高松空港へ、車椅子を飛行機に載せる時は、結構大変です。わたしの車椅子は電動ですからバッテリーがあり、そのバッテリーが、液体で、荷物として問題になるとかで、スツタモンダしまして、同行の佐藤さんはその対応に怒り心頭でした。

高松空港から会場のまんのう公園にタクシーで入りました。

大会当日は途中から雨が強まって、競技にはあいにくでした。私のエスコートにお二人の男性がついてくれましたが、それでも傘ではカバーしきれない下半身はどんどん濡れてくるし。途中から競技に集中するのもつらかったです。寒さも加わり途中棄権も考えましたが、とにかくゴールまでは辿り着きました。最終結果はさんざんでした。雨の中エスコート戴いた徳野さん、西原さんそして空港まで送って戴いた松井さんありがとうございました。

今までこの競技を続けて

最初にも書きましたが 自分がこの競技に出会ってから早 5 年くらいになります。しかし自分の競技レベルはまだまだです。1 番の原因としては問題で使われる記号を覚えきれていない事と、車いすでの目線の関係上フラッグ自体が良く見えてないと思われます。ともかく。記号は最低限クリアするよう頑張ります。

競技以外での楽しみ

自分は電動車椅子(手動権用)を使ってからこの春で丸 6 年になります。以前から普通型(いわゆる重量のある電動車椅子)は使っていましたが、県外などへの旅には、考えるものが有りました。もともと、遠出をしたいという思いは持っていましたので、この軽い電動車椅子をしたことにより自分の生活の幅と質が格段と向上したと思いません。

悔しい、歯がゆいと感じることもありますが、しかし、おかげで街づくりなど等の現況などを自分の目と肌で感じ取れるので、それがまた自分自身をより向上心を掻き立てる事にもつながっていると思います。

経済的な面は最低限の管理を自分でやることで、何とか家族に負担をかけることなくやっています。そうでなければここまでやることは不可能と思います。

トレイルOのこれから

障害者にいかに参加してもらえるかですが、これと言った案が自分の中でも見つからない、というの本当のところです。

(海津良一)

まんのう大会の成績

Aクラス

1	木村治雄	入間市OLC	17点	21秒
2	小泉辰喜	東京OLC	17点	23秒
3	山口拓也	浜松OLC	17点	40秒

Pクラス

1	高柳宣幸	港南OLC	9点	56秒
2	森 長三	長崎県	9点	149秒
3	海津良一	新潟県	1点	209秒

Bクラス

1	牧山知彦	春日部OLC	11点
1	米本善政	徳島県	11点
3	山本博司	東京都	9点

Nクラス

1	川端 勲	北九州OLC	10点
2	菅 俊一	愛媛県	9点
2	布川和子	徳島県	9点